

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2018年8月1日 179号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



完成した、エビ養殖の保温室

7月14日撮影



仕事を完成させる水落氏。7月2日



ビニールカバーを張る作業。6月27日



すべてプロの精巧さで作業。6月20日

## エビ養殖の保温室が完成！

南半球は、年間で最も気温の低い季節を迎えています。レダ基地では最高気温が一桁の日もあり、時にはスタッフや従業員が、焚き火で暖を取ることがあります。稀な現象ですが、六月、雹(ひょう)が降りました。レダの塩水で孵化し、育成したオニテナガエビの稚エビを寒さから守り、大きく育てるために、必要なのが保温設備です。先号で、保温室の建造工事についてお伝えしましたが、この七月初めに完成しました。

保温室内には、基地の木工場で作した保温槽が搬入・設置されました。今後は気温の変化に強い水産設備として、オニテナガエビの増殖・養殖の研究に用いられます。保温室の建造では、大工のプロフェッショナル、水落勝氏が大きな働きをしました。レダでは、日本のような台風や地震はありませんが、暴風雨は珍しくありません。この保温室は、鉄筋コンクリートの土台と柱を備え、全体の造りも精巧に仕上げられました。水落氏は今回、約十か月間の赴任期間を全うし、日本に帰る日の押し迫る中で、寝食を忘れるほど作業に没頭しました。

七月四日、韓国の鮮文大水産生命医学科より、權赫樞教授が二名の研究生を伴い、左藤トシ子さんと共にレダに到着され、その飛行機で水落氏は帰国の途に就きました。

鮮文大は、韓国で内水面養殖研究の蓄積があります。これから奥迫夫妻と共に、オニテナガエビの完全養殖に向けて、力を合わせて行きます。またパクーの養殖を指導してくれた、マグノ教授が所属するアスンシオン国立大学獣医学部も、エビ養殖の共同研究パートナーです。このチームは、未知の可能性を秘めた、パンタナール、ウエットチャコ地域において、前人未踏の研究に挑戦し、実用化してくれることでしょう。





権教授たちにタロイモ栽培を説明する中田所長。



タロイモを収穫する青年たち。



今、レダ基地では

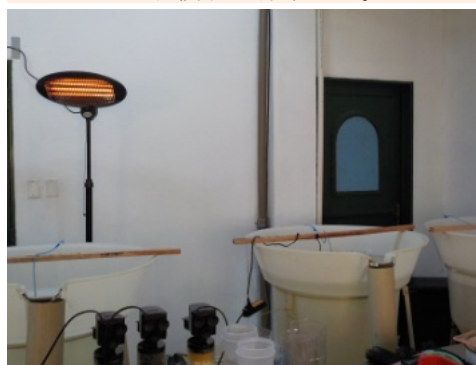
権教授(紫シャツ)とイム君とミン君(右の2人)と奥迫夫妻。7月4日



歓迎のバナー。



研究室開所式でテープカット。7月9日



孵化器で稚エビの生育を研究。



エビの成長を観察・研究する奥迫さん。



エビの養殖場。左の写真がその中。



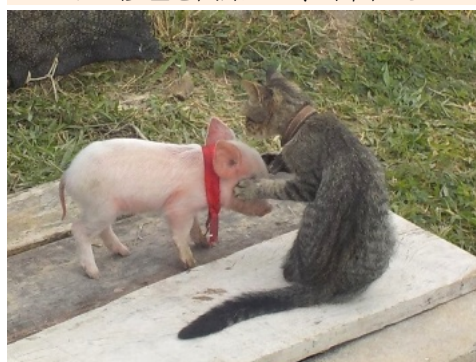
ボートの修理を開始した、米国からの一行。



ベニータと左藤トシ子さん。



収穫したパクーを手に、研究生のイム君。



仲よし2匹。



福島さん(左)と河野さんの花壇作業。



青年たちが育てているレタス。第一農場



## 第二十二回環境問題研究会セミナー開催

六月三十日（土）、午後一時半より、大山街道ふるさと館二階イベントホールにおいて、第二十二回環境問題研究会セミナーを開催しました。テーマは



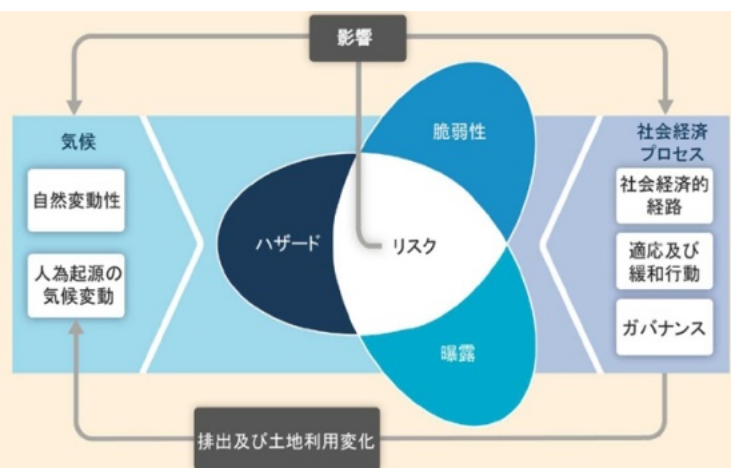
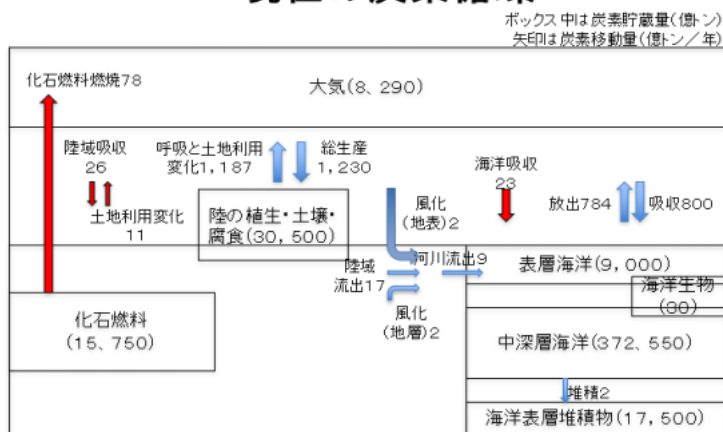
語る鬼頭昭雄先生。大山街道ふるさと館



セミナーの最後に記念撮影。6月30日午後4時15分

「地球温暖化問題への誤解／曲解を正す」、講師は第二十回でも講義された、気象業務支援センター地球環境・気候研究推進室長の鬼頭昭雄先生。参加者は三十六名でした。鬼頭先生は、IPCC第一作業部会第二次／第五次評価報告書に続き、現在は第六次評価報告書の代表執筆者を務めている、地球温暖化問題の専門家です。今回のセミナーでも、第二十回と同様に、綿密なデータに基づく図表を駆使した、密度の高い講義がなされました。「一八九六年アレニウスの試算」「温暖化懐疑論の特徴」「二酸化炭素濃度の増加と海洋酸性化」「温暖化は起きているのか？」「自然変動ではないのか？」「温暖化の原因は何か？」「気候モデルは信頼できるか？」「温暖化により気候リスクが増加する」「地球温暖化が引き起こす社会・経済的な影響」等々、説得力と切迫感のある内容に満ちていました。講義内容全体が、とても高度かつ豊富なため、後に環

## 現在の炭素循環



## ●温暖化懐疑論の特徴…この講義は、論理学の虚偽論を簡潔にまとめたような内容で、私たちの日常生活でも幅広く役に立つものです。これを頭の中に入れておけば、人やメディアから騙されにくくなるだけでなく、人が悪意からでなく人に迷惑をかけるような結果になることを防ぐ上でも効果がありそうです。

最後に質疑応答の時間があり、午後四時過ぎ、恒例の記念撮影をして、和やかに閉会しました。鬼頭先生と参加者の皆様、ありがとうございました。

次回の予定につきましては、本紙、当法人のホームページ、チラシ等でお知らせいたします。どうぞ、お見逃しなく！

## 温暖化懐疑論の特徴

- 既存の知見や観測データを誤解あるいは曲解している。
- すでに十分に考慮されている事項を、考慮されていないと批判する。
- 多数の事例・根拠に基づいた議論に対して、少数の事例・根拠をもって否定する。
- 定量的評価が進んでいる事項に対して、定性的にとどまる言説を持ち出して否定する。（定性的要因の指摘自体はよいことではあるものの、その意義づけに無理がある。）
- 不確かさを含めた科学的理解が進んでいるにもかかわらず、不確かさを強調する。
- 既存の知見を一方向的に疑いながら、自分の立論の根拠に関しては同様な疑いを向けない。
- 問題となる現象の時間的および空間的なスケールを取り違えている。
- 温暖化対策に関する取り決めの内容などを理解していない。
- 三段論法の間違いなど、ロジックとして誤解がある。

（明日香壽川ほか「地球温暖化懐疑論批判」（2009）から）

境問題研究会による詳細なまとめが用意されますので、ここでは三点だけ報告します。

●現在の炭素循環…「年々の炭素循環量は、海洋と大気との交換量約八〇億トンに対し、化石燃料等の人為起源は約八〇億トン。自然の炭素循環は収支均衡しているが、人為起源の二酸化炭素は大気・海洋中に年々蓄積され続けている。産業革命期以降の積算では三五〇〇億トンに達し自然界の炭素交換量を大きく超えている。（右図）」

●リスクIIハザード×曝露×脆弱性…「気候に関連した影響のリスクは、人間及び自然システムの脆弱性や曝露と気候に関連するハザード（危険な事象や傾向など）との相互作用の結果もたらされる。脆弱性、曝露、ハザードのそれぞれを小さくすることでリスクを減らすことができる。（右下図）」

なお曝露とは、有害物にさらされること（exposure）を言い、暴露とも書きます。



# 第十八回国際協力青年奉仕隊へ、ご支援をお願いいたします！

●今年の奉仕地は、チャコのトロパンパ村

レダ・プロジェクトの重要な一環として、当会では毎年八月から九月にかけて、国際協力青年奉仕隊を派遣しています。今年は、パラグアイ、チャコ地方のトロパンパ村において、小学校のわきに公園を造るための奉仕作業をします。すでにトラック五台分の土を盛り、遊具を選定しています。公園造りは、村人たちの長年の夢の実現であり、当会を信じて協力を要望されたものです。

例年と同様、奉仕作業のパートナーは、主として学校の教師、生徒、父母たち。活動期間を通じ、子供たちとスポーツや文化の交流も行われます。村人たちは、熱意に溢れた校長先生を筆頭に、すでに日本の青年奉仕隊の訪れを、大変に楽しみにし、待ちわびています。

どうか皆様の暖かいご支援をお願いいたします！

●支援金の送り先… ゆうちよ銀行からⅡ記号10280番号61349751

他の金融機関からⅡ店名〇二八 店番〇28 普通預金61349751

●未使用の切手・ハガキも支援になります。送り先等のお問合せは、下段左の、当法人事務局へお願いします。



第13回奉仕隊を歓迎するトロパンパの住民たち。



トロパンパの子供に折り紙を教える。2013年8月



## ベランダを緑に！酷暑を乗り切ろう！

### 検索

### COOL CHOICE

私たち一人一人が心がけることのできる地球温暖化対策も、探せば広範多岐にわたっています。ここでは、信頼できる情報をかりやすくまとめたウェブサイトの一つ、環境省のCOOL CHOICE(クールチョイス)より、「地球温暖化対策にもつながる、楽しいベランダ菜園」を紹介しましょう。今からでも十分に間に合う、ミニトマト、リーフレタス、二十日大根などがお奨めです。(以下、同ウェブサイトより引用)

### 植物を育てる楽しさは想像以上！

生活の中に植物があると、眺めているだけで楽しいものです。さらに自分の手で育てれば、土に触れたり、香りをかぐことでもリラクゼーションできます。

特に家庭菜園は、収穫の喜びがあり、農薬の心配もなく味わうことができる、究極の贅沢ではないでしょうか。庭のないマンションでも大丈夫！ベランダで鉢やプランターひとつから始められますので、ぜひトライしてみてください。

ベランダ菜園に必要なものは、野菜やハーブの種(または苗)と、鉢、鉢、シャベル、培養土などです。道具は百円ショップでも手に入るので、手軽に始められます。市販の種は、ラベルに簡単な育て方が書かれていることが多いです。それを参考に植えてみましょう。

ベランダ菜園のコツ ■日当たりが重要。陰になるとは鉢台などを使う。 ■夏に西日が強い場所は、遮光ネットで乾燥や葉焼けを防ぐ。 ■ベランダの耐荷重に注意し、避難経路をふさがない。 ■土が広がる植物は、洗濯物干場などの動線を妨げないように、植える場所を調整する。 ■基本的な育て方は、発芽までは土を乾かさないうようにして、発芽後は土が乾いたらしっかりと水をやり、鉢の大きさに合わせて、適度に間引きしてください。



<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/topics/20170919-01.html>

## 一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

ゆうちょ銀行(旧一般会員会費納入)

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: <https://asd-nsa.com>

## 会員種別

◆会員一口1000円/月

◆特別会員一口1万円/月

◆法人会員一口1万円/月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちよ銀行

00290-5-113072

加入者名: シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

## お便り募集



ムラサキシジミ

読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局:

office@asd-nsa.com

へお願いします。